

生鮮野菜の安定調達を目的に、八代市と阿蘇市の2農場でトマトを生産 農業生産法人・株式会社モスファームマルミツを設立

～熊本県内の全店で“モスファーム設立”記念キャンペーンを実施～

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス（代表取締役会長兼社長：櫻田 厚、本社：東京都品川区）では、モスバーガー店舗で使用する生鮮野菜の安定した調達と産地との協力体制強化を目指し、2015年4月10日（金）に農業生産法人・株式会社モスファームマルミツ（代表取締役社長：満島 清志、熊本県八代市）を設立しました。8月より、本格的な作付けを開始します。当初は、トマト約90トン（年間収穫総量）を生産する計画です。当社として、農業生産法人を設立するのは全国で5例目、熊本県ではモスファーム熊本に続き2例目となります。

2006年	株式会社サングレイス（静岡県菊川市）
2013年	株式会社モスファーム熊本（熊本県八代市）
2014年	株式会社モスファームすずなり（静岡県磐田市） 株式会社モス・サンファームむかわ（北海道むかわ町）



【農場看板デザイン】

また今回は熊本県で2例目となる“モスファーム設立”を記念して、熊本県内にあるモスバーガー全23店舗にて、5月23日（土）と24日（日）の2日間、日頃のご愛顧を感謝し店舗ご利用のお客さま、各店、各日先着50名様に「モスファーム熊本」で収穫したトマトを専用袋に入れて1袋ずつプレゼントするキャンペーンを実施します。

株式会社モスファームマルミツは、モスフードサービスと農業生産法人マルミツアグリ株式会社（代表取締役社長：満島 清志、所在地：熊本県八代市）との共同出資会社で、資本金は5,000万円です。当社は、新会社に対し3,500万円を出資し、70.0%の株式を保有する株主となり、議決権ベースは24.8%と、1/4以下※となります。

※一般株式会社の農業生産法人への出資について・・・

農地法により「株式の譲渡制限」があり、農業関係者（農家、農協等）以外の構成員は、総議決権の1/4以下と決められています。

※なおこの事業は、JAグループと連携し、農業法人の発展を支援しているアグリビジネス投資育成株式会社（取締役代表執行役：北原 克彦、本社：東京都千代田区）からの出資を受けることが決定しています。最終的な資本金は、7,500万円になる予定です。

過去数年、天候異変や新種の病気発生、農業現場の人手不足などに左右され、生鮮野菜の安定調達は困難な傾向にあります。特に9月～11月の端境期の品質の良いトマトは、安定供給に課題を残していました。株式会社モスファームマルミツは、熊本県八代市と阿蘇市にそれぞれ農場を保有し、年間を通し糖度、酸味に優れた高品質なトマトの安定調達を目指します。

＜株式会社モスファームマルミツ 概要＞

株式会社モスファームマルミツは、熊本県八代市と阿蘇市に総作付面積で、約0.8ヘクタール（約2,400坪）の農場を運営します。国内屈指のトマト産地地域にある八代農場は、八代海に面した八代平野に位置し、ミネラル分の豊富な土壌を活かして10月～6月の拠点としてトマトを生産します。阿蘇農場は標高800m地帯に位置し、夏の冷涼な気候を活かして7月～11月の拠点としてトマトを生産します。また、中山間地の農業振興、雇用の創出という面でも地域貢献、社会貢献を図ります。

- 設立 : 2015年4月10日（金） *本格作付け開始は、2015年8月
- 商号 : 株式会社モスファームマルミツ（農業生産法人）
- 資本金 : 5,000万円
- 所在地 : 熊本県八代市鏡町貝洲 536-1
- 代表者 : 代表取締役社長 満島 清志（マルミツアグリ株式会社代表取締役、マルミツ園芸株式会社専務取締役）
- おもな役員 : 取締役 佐藤 秀行（株式会社モスフードサービス 商品本部 アグリ事業グループ シニアリーダー）
- 施設 : 八代農場（熊本県八代市） 0.4ヘクタール
阿蘇農場（熊本県阿蘇市） 0.4ヘクタール
- おもな出資者 : 株式会社モスフードサービス
マルミツアグリ株式会社
アグリビジネス投資育成株式会社（予定）

＜“モスファーム設立” 記念キャンペーンについて＞

- 実施日 : 2015年5月23日（土）、24日（日）
- 実施店舗 : 熊本県内のモスバーガー全23店舗
- 内容 :

今回の“モスファーム設立”を記念して、モスファーム熊本で収穫したトマトをオリジナル専用袋に入れ、期間中熊本県内のモスバーガー店舗をご利用のお客さま、各店、各日先着50名様に1袋プレゼントします。



※写真はイメージです。

モスフードサービスでは、「人間貢献・社会貢献」の経営理念のもと、「おいしさ、安全、健康」という考え方を大切にした商品を「真心と笑顔のサービス」とともに提供することに一貫して取り組んでいます。食全般に対する関心が高まる中、外食産業と農業生産現場との協働は必要不可欠な要素となりつつあります。当社ではあらゆる角度から実りのある協力体制を模索し、日本国内の農業や地域社会へ貢献していく考えです。

<参考>

◇『モスの生野菜』について

モスでは良い土がおいしくて健康な野菜を育てると考え、日本全国約3,000軒（2015年度）の協力農家により、農薬や化学肥料に極力頼らない方法で栽培された安心・安全な野菜を『モスの生野菜』と呼んでいます。モスバーガーのお店では、日々届く生野菜の主な産地と生産者を店内に掲示し、「生産者の顔が見える野菜」としてご提供しています。

◇マルミツアグリ株式会社について

マルミツアグリ株式会社は、2007年に設立したマルミツ園芸株式会社の農園部門の法人です。1998年より、関連会社であるマルミツ園芸株式会社にて、当社との取り組みを開始しました。主に九州・関東エリアのモスバーガーに、生産者の顔が見えるこだわりのトマトを供給いただいています。高品質なトマトの安定生産を図りながら、次世代を担う若手農業者の育成にも、力を入れています。

- 資本金 : 100万円
- 売上高 : 8,800万円

<この件に関する問い合わせ先>

株式会社モスフードサービス 広報 IR グループ TEL. 03-5487-7371 FAX. 03-5487-7389
〒141-6004 東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower 4F
<http://mos.jp/> E-mail. pr@mos.co.jp